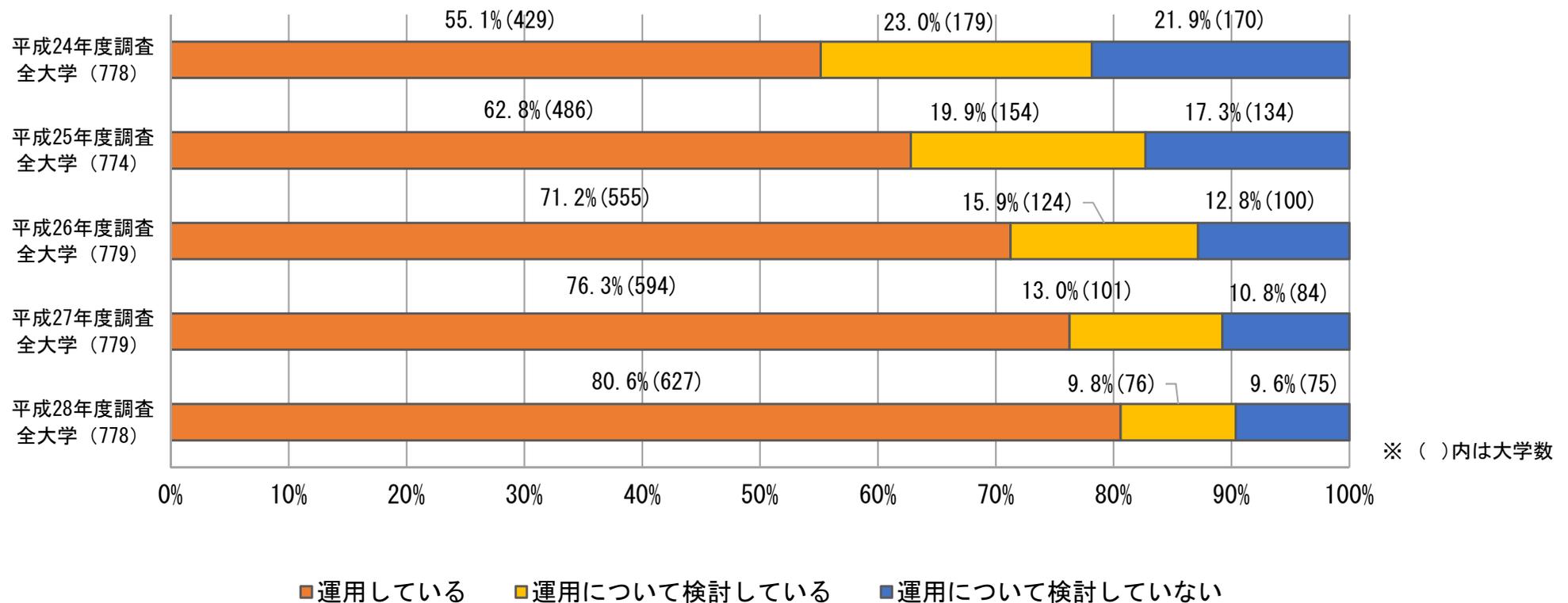


クラウドの運用状況

●情報システムをクラウド化（全部または一部を学内の情報センター等または学外の施設に集約・共有化し、効率的に運用）している大学は、平成28年度は、627大学（80.6%）である。また、76大学（9.8%）がクラウド化を検討している。

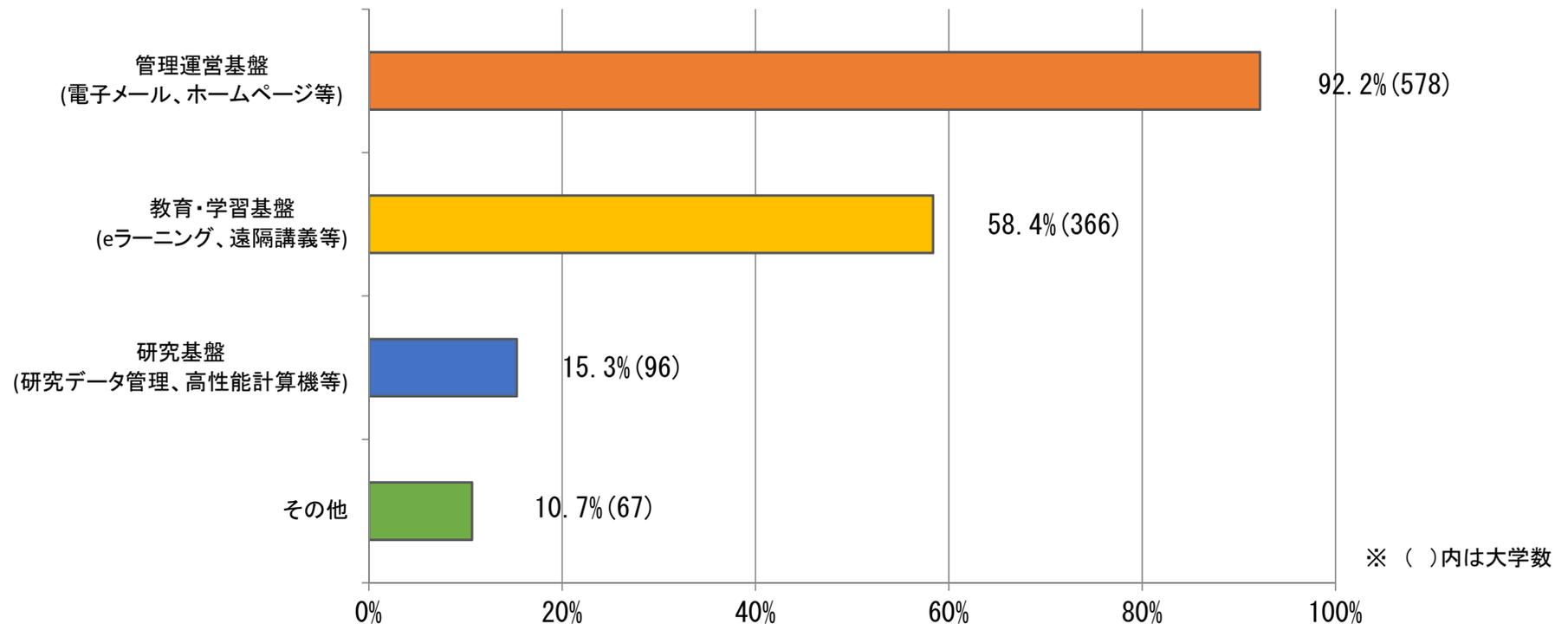
【平成28年5月1日現在】



クラウドの用途

- クラウドの用途は、管理運営基盤（電子メール、ホームページ等）が578大学（92.2%）、教育・学習基盤（eラーニング、遠隔講義等）が366大学（58.4%）、研究基盤（研究データ管理、高性能計算機等）が96大学（15.3%）となっている（複数回答有）。

【平成28年5月1日現在】



クラウド化の効果

●クラウド化の効果として、「管理・運用等にかかるコストの軽減」を挙げている大学が最も多い
(503大学、80.2%)

【平成28年5月1日現在】

